

令和7年度 宮城県「保育施設長研修」 実 施 要 項

1 目 的

近年、子どもを取り巻く環境は常に変化しており、未来を担う子どもの育ちを支える社会資源として質の高い保育を提供するため、広い視点に立った事業運営が求められています。

本研修は、保育施設長として現状の課題を把握し、専門性と遂行能力を高め、保育の質を向上させることを目指します。

2 主 催

宮城県・一般社団法人宮城県保育協議会・社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

3 日 時・研修形態

令和7年12月11日（木）午前10時から午後3時まで

※Z o o mを使用したオンライン研修と、会場での集合型研修の同時実施。

4 会 場

みやぎハートフルセンター2階 大会議室（1）、（2）
（仙台市青葉区上杉3-3-1）

5 受講対象

県内保育施設の施設長 ※認可・認可外を問わない。

6 定 員

45名程度（先着順）

※申込人数が多数の場合、1事業所あたりの参加人数を制限させていただく場合があります。

7 申込方法（詳細は別添資料1、2を参考にしてください）

宮城県社会福祉協議会ホームページ (<https://www.miyagi-sfk.net>)「研修受付システム」から、申込みをしてください。システム上で会場受講用又はオンライン受講用のどちらかを選択して申込みをしてください。

※申込締切 令和7年12月1日（月）正午まで

8 受講料 2,400円

申込期限日以降、本会研修係から申込者へ「受講料払込の御案内」をメールで送信します。

インボイス制度に則った“適格請求書”を発行しますので、申込み時に、請求書の宛名を御入力ください。なお、請求書が不要の場合は、その旨入力してください。

※振込手数料は、受講者（送金人）負担となります。

※払込期日 令和7年12月26日（金）まで

9 研修受講にあたって

(1) 集合型研修について

研修資料は当日に会場でお配りします。筆記用具を忘れずに御持参ください。

研修会場は、みやぎハートフルセンター（仙台市青葉区上杉3-3-1）2階 大会議室（1）、（2）です。

※会場での飲食は可能ですので、会場内でお取り扱いいたしません。

ただし、ゴミは各自でお持ち帰りをお願いします。

※駐車場がないため、車を使用する場合は近隣の有料駐車場を利用してください。

※建物内及び建物周辺は禁煙となっておりますので、御協力をお願いします。



(2) オンライン研修について

イ オンライン受講者宛てに、研修テキスト等のデータを12月8日（月）にメールで送信予定です。なお、メール受信後は、キャンセルする場合でも受講料の支払いが必要です。

ロ グループワーク等を予定していますので、パソコンで受講してください。受講者1名につき1台のパソコンが必要です。

ハ パソコンのカメラ及びマイク機能が使用できるよう、事前に御準備ください。

ニ 本研修はZ o o mを使用します。事前にアプリケーションのインストールをお願いします。

ホ パソコン等の機器や、Z o o mミーティングの操作方法等に関するお問合せには対応できかねますので、あらかじめ御了承願います。

へ 受講状況を確認させていただきますので、講義中はビデオカメラをオンにして御聴講ください。休憩時間中は、オフにさせていただいて構いません。

10 その他

(1) 受講申込後に、欠席又は申込事項が変更となる場合には、速やかに「研修受付システム」から取消し又は修正してください。

- (2) 受講申込時に入力いただいた個人情報は、当該研修の運営管理の目的のみに使用いたします。
 なお、氏名・所属先・職名を記載した受講者名簿を、受講者間の情報交換を目的として配付します。差し障りがある場合は、事前に事務局へ御連絡ください。
- (3) 急遽研修の開催を変更する場合は、本会のホームページ [宮城県社会福祉協議会 \(http://www.miyagi-sfk.net/\)](http://www.miyagi-sfk.net/) に情報を掲載しますので、研修当日まで御確認願います。

1 1 申込み・問合せ先

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 みやぎハートフルセンター
 福祉研修センター研修係（担当：星、高橋）
 〒980-0011 仙台市青葉区上杉3丁目3番1号 2階
 TEL: 022-225-8479 FAX: 022-797-1203

1 2 研修内容

時 間	内 容	講師・役員
9:30	受付（ログイン）開始。 <u>9:50分までに着席（ログイン）してください。</u>	
10:00	オリエンテーション・開会挨拶	宮城県保育協議会 副会長 重原 達也 氏
10:10	(1) 講 義・演 習 「多種多様な災害に対応するために保育施設及び職員がすべきこと」 講義： ・地震・津波・台風・集中豪雨などの災害リスクについて ・保育施設及び職員がすべきこと 演習： ・災害発生前及び発生後の情報収集の仕方について ※現地参加者はスマートフォンを持参してください。実際に実演しながら参加者の皆様に試してみます。オンライン参加者もご自身のスマートフォンで試してみてください。	東北大学災害科学国際研究所 グリーン未来創造機構 准教授 柴山 明寛 氏
12:00	事務連絡 ※宮城県社会福祉協議会 地域福祉部共生社会推進課から	
12:10	昼食・休憩	
13:00	(2) 講 義・演 習 「保育現場で大切にしたい“からだの権利”と子どもたちに育みたい“からだ感”」 ・保育現場、教育現場での不適切な関わり、「日本版DBS」について ・乳幼児期の性心理的発達について ・保育現場で行う包括的性教育とは	一般社団法人“人間と性”教育 研究協議会（性教協） 代表幹事 性教協 乳幼児の性教育サークル代表 北山 ひと美 氏
15:00	閉会・事務連絡・アンケート回答	

- ※研修内容は、当日までに変更する場合があります。
 ※講義の進捗により時間が前後する場合があります。
 ※講師の判断で、適宜休憩を挟みます。
 ※休憩時間の際は、カメラをオフにしないでください。